庭先を流れる“環境用水”：
水路と庭先の境界にしなやかな造形と植栽を盛り込んだ水辺のフットパス

撮影：2011年11月（東京都江戸川区北小岩）

◆ドブ川水路の時代を乗り越えて

江戸時代からの小岩用水は、江戸川から直接取水されるようになって以後、水が汚れて蚊が大発生したりしました。その後水質が改善され1991年上小岩親水緑道が完成しました。

◆「私の庭は緑道の一部」

家の外側には公共空間である緑道と親水水路が接していますが、路地の特質である「開放性」「曖昧性」「安心感」が感じられます。みんなが庭先で少しでもきれいに見せようとすれば、自然と緑道全体の質が上るでしょう。

国土文化研究所　特任研究員　岡村幸二（JRRN会員）